

学びの社会実装

小松川 浩
公立千歳科学技術大学

<講演概要>

情報技術を活用した学びの研究成果は、社会実装の観点で今大変重要になっています。小中学校での一人一台端末の活用，高校の情報Ⅰの必修化と入試，大学での数理データサイエンス教育の展開，教育DXや教学IRを通じた学びの最適化、社会で求められるリスクリング教育，全教育課程での生成系AIの活用など、本当に多岐にわたるトピックで、我々の研究成果が期待されています。本学会が向き合ってきた学習を科学する立場から、しっかりとこうした社会課題に向き合い、その成果を分かりやすく社会に示していくことが重要です。本講演では、「学びの社会実装」をテーマに、幾つか事例も交えながら、考えてみたいと思います。この言葉は二つの意味を込めた造語です。一つは、我々の研究の直接的な成果としての社会実装という意味です。これは、本学会の研究成果である教育に関わるシステムを、如何に上記の社会課題に適用していくかを指します。もう一つは、研究成果を通じて改善された学習の成果，すなわち人材育成の社会実装です。我々の研究は、情報を活用した学習デザイン・モデリングを活用することで、授業や学びの質を本質的・汎化的に高めることを目指しています。これは実証的で実践的であるべきで、その成果は人材育成の形で現れるため、多くの教育現場で求められることでもあります。今回は、二つの意味を、実際の社会課題の事例に当てはめながら、皆さんと一緒に考え、本学会が貢献できることについて改めて考えてみたいと思います。

講演者略歴

1990年-慶應義塾大学工学部電気工学科卒業
1995年-慶應義塾大学工学研究科物理学専攻博士課程修了（理学（物理学））
1995年-慶應義塾大学工学研究科 助手
1998年-千歳科学技術大学光科学部光応用システム学科専任講師
現在-公立千歳科学技術大学工学部情報システム工学科教授

教育システム情報学会 会長
大学eラーニング協議会 会長
日本情報科教育学会 理事
文部科学省 初等中等教育局 学校DX戦略アドバイザー
文部科学省 高等教育局 デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン事業委員会他
北海道 Society5.0 推進会議委員（人材育成WG リーダ）